

2026年2月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 パ イ オ ラ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 聡
(コード番号 5988 東証プライム)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 福 田 俊 宏
(TEL. 045-577-3880)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月12日に公表した2026年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2026年3月期 連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	62,000	2,100	2,000	1,200	45.79
今 回 発 表 予 想 (B)	61,200	1,600	1,500	700	27.44
増 減 額 (B-A)	-800	-500	-500	-500	
増 減 率 (%)	-1.3	-23.8	-25.0	-41.7	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	63,351	2,382	3,402	1,792	52.67

1. 業績予想 修正の理由)

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の業績に加え、主要なお取引先である自動車業界の販売の動向、特に国内および北米、中国向け販売の低迷による減収と、減収に伴う限界利益の減少が引き続き継続するとの前提に基づいて算定しており、現時点で入手可能な販売、生産動向などを勘案して通期の業績予想を見直しましたので修正いたします。

なお為替レートにつきましては、1米ドル＝150円を想定しております。

2. 今後の見通しについて

当社を取り巻く事業環境といたしましては、世界的なインフレ率の高止まり、為替変動リスクや地政学リスク等のマクロ要因は依然として不透明な状況が継続しております。自動車業界におきましても、主要OEMの低迷による減産および生産再配置、日系OEMのグローバルでのシェア低下の影響が非常に大きく、米国の関税動向、原材料費やエネルギー価格などの高騰などもあり、厳しい事業環境が継続するものと見込んでおります。

このような環境下において、当社グループといたしましては、商品戦略および地域戦略を軸に据え、トップラインの伸長とコスト構造改革を進めるべく諸施策を実施してまいります。商品戦略におきましては、当社の強みである金属と樹脂の加工技術を活用し、CASE対応部品、電動ユニット部品、複合ユニット部品といった高付加価値製品の創出に注力するとともに、従来手掛けなかった商品サイズなどにも挑戦し、自動車一台あたりの搭載金額を向上させていきます。今期は、主要OEMのターゲット車種において台当たり搭載金額が最大で二倍に向上したことや、中国やインドの地場OEMからADAS関連部品を受注するなど、成果としてあらわれはじめております。

地域戦略におきましては、北米、中国、インドを重点地域とし、地場OEM向けの拡販活動に注力するとともに、設計開発の現地化を推進し、現地のニーズを迅速、的確に捉える体制を整備し、スピードとコスト競争力を向上させていきます。併せて、今期は地域毎のOEM動向を踏まえ、最適な生産体制の整備やグループ全体で約150人の人員削減を行うなど、来期以降に向けた収益構造の見直しを実施しました。

また、今期は組織改革により、従来の事業部制から機能別組織へと移行し、顧客の課題に即応できる体制を整備したほか、グループ会社の統廃合を行い、グループ運営の効率化に取り組みました。来期は更なる効率化を図るべく、国内においても生産体制や人員体制の見直しを進めていく所存です。

なお、現行の中期経営計画につきましては、事業環境の変化および構造的課題を踏まえ現在見直しを進めており、2026年5月を目途に公表する予定です。

(注)本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上